

## 第 16 回 盛岡市民演劇賞 観客賞投票結果

盛岡市民演劇賞実施要綱第 5 の (2) —観客賞投票要領に基づき、観客賞が部門賞として成立しましたことをご報告致します。

投票受付期間：平成 30 年 7 月 1 日 (日) 9:00~7 月 8 日 (日) 21:30 まで

投票総数：20 票 (うち有効票数 20 票)

公演団体	公演名	獲得票数	主な推薦理由
寺山修司演劇祭 劇団ちりぢり	血は立ったまま眠っていない	5 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心が早りました。</li> <li>・誰かの真似や、既成の脚本、話題性がありそうな事柄を用いた「ごっこ遊び」ともいえる上演が多い中、これほどまでに題材について研究し考え、そのうえで自分にしかできない視点で題材に対して再構築した作品はなかなか類がない。未完成な部分はありますが、「盛岡発の作品」として、他県で上演しても必ず評価される名作だと感じます。本来、文化というものは人真似やイベント性でもなく、何を表現したか、そこにしっかり哲学があるかが大切だと思います。盛岡の演劇界の若者にそのことを考えてもらうためにも、当作品を推薦いたします。</li> <li>・「お芝居」というものにたいして、非常に大きな敬意を払っている作品であった。劇場に入った際のワクワク感や、エネルギーと笑いに満ちあふれた上演が大好きです。</li> <li>・これほどまでに何も考えずに観劇に集中出来る作品はそうそうない。</li> <li>・私が拝見した作品のなかで、最も「曝け出す」という覚悟を感じた。キャストやスタッフワークもすべて高水準。とりわけ脚本が秀逸で、テーマとなった寺山修司への理解・分解・再構成の練度が高く、やや大袈裟かもしれないが、演劇を通した寺山修司論のひとつとして昇華されていたと思う。</li> </ul>
Cyg art gallery プロデュース	雲は透ける、ペーパー ナプキンにあこがれて	4 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番、気持ちが揺れ動いた作品なので。・・・こういう演劇もあるのかと思った</li> <li>・内容が分からなかったのに面白いと感じた。不思議だった。</li> <li>・一番、わーっと思える作品だったので。</li> </ul>
現代時報	謳歌	3 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を漫画のために、人のために捧げた漫画家の女性を見事に描いている。現在、過去の繋げ方、表現の仕方も素晴らしい。この作品を觀賞して再度、考えさせられたのは「幸せとは」ということ。物質的な満足で幸せを得ることができるのか。幸せとは、信頼できる人間との繋がりがいつもあることではないだろうか。舞台では、女性の漫画家の周りにはアシスタント、編集者など多くの方が集まっており、彼女自身も漫画を書き、人が集うその状況を心より喜んでいて、そして自らもその気持ちを言葉で言わずとも皆に伝えていたようにも受け取れた。脚本、音響、演出、全てにおいて心に残る舞台でした。</li> </ul>
ボーイズドレッシング	スローターズⅡ	2 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間内の公演で、間違いなく一番エネルギッシュな規模・企画・内容だった。</li> <li>・なんか遠くの方まで連れてった様なそんな感覚を観劇後に覚えました。ボーイズドレッシングさんは他にない唯一無二のものがあると思います。</li> <li>・演劇ならではの刺激的な表現と熱さ、それに裏打ちされた音楽や美術も良かったです。</li> </ul>
もりげき八時の芝居小屋 八時の芝居小屋制作委員会 プロデュース	さそりが還る日 <完全版>	2 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀河鉄道の夜の後日談と言う事で、幻想的な世界観の中、カンパネラの死を受け止め昇華させていくザネリとジョバンニの姿が良かったです。役者の演技も良かったですし、舞台装置、照明も良かったと思います。</li> <li>・印象に残る明かり。見ていて心地よい流れ。時間が気にならないくらい引き込まれた。</li> </ul>
寺山修司演劇祭 劇団赤い風	疫病流行記	1 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狂おしくも美しいものを観た気がした。舞台や演出、全てにおいて斬新で、断片的なシーンを頭の中で繋げる事に必死にはなるが、芝居に置いていかれないように観る事にも必死になりたくなる。そしてその難易度の高い芝居をこなす役者陣の実力。圧巻の一言。衝撃とはこの事か。未だに忘れられない鳥肌のある感覚がある。</li> </ul>
岩手大学劇団かっぱ	笑われガスター	1 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンホールの高さを有効に使った、シンプルでありながらも自由度の高い舞台美術と、現在の大学生が、ステロタイプとも言える脚本を変に捻じ曲げずストレートに演じきったことに素直に感動した。</li> </ul>
寺山修司演劇祭 実行委員会プロデュース	この世のことならず (『十三の砂山』)	1 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また観たい！と激しく思いました。寺山修司を映画でしか知らない世代ですが、完璧に現実のような非現実性に連れて行ってくれました。終わった瞬間に終わったことに気付いて泣きそうでした。再演希望です。</li> </ul>
ねずみとうし企画	アフターユース	1 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あの歳の人たちじゃないと作れない、痛々しい不器用さの表現がとても良かった。</li> </ul>

(平成 30 年 7 月 12 日)